

越知町立越知中学校環境学習

(主催：越知町立越知中学校 協力：高知県衛生環境研究所)

令和6年10月2日(水)に、高知県越知町立越知中学校で仁淀川を舞台に清流度調査や水生生物調査などの環境学習を行いました。

(主催：越知中学校、協力：衛生環境研究所)

生徒たちは、仁淀川の概要や清流度調査の手順、採集する水生生物についての説明を受けた後、実際に仁淀川へ移動し清流度調査の体験、水生生物の採集を行いました。

清流度調査では、川の透明性を測る装置(清流度計)を順番にのぞき込み、川の中の目印が見えなくなるまで、目を凝らして計測していました。

水生生物の採集では、川底の石をひっくり返したり、網ですくい上げたりして懸命に水生生物を探し、捕獲すると「先生見て!」と嬉しそうにはしゃいでいました。

採集の後は、水生生物の同定をしました。水質がきれいなところにしか生息できないカワゲラやヘビトンボなど8種類の水生生物を確認することが出来ました。

学習の最後には、班ごとに清流度の測定結果と捕獲した水生生物の種類を発表し、それをもとに水質階級を判定しました。今回の学習を通して、生徒たちにとって身近な仁淀川の自然環境や生態系について考えるきっかけになったのではないのでしょうか。

